



(東証グロース : 4381)

ビープラッツ株式会社

2022年3月期

通期決算説明資料

2022年5月13日



bplats[®]

目次

1. 2022年3月期 通期業績概要

2. 2023年3月期 通期業績予想

3. 事業の業況

APPENDIX

事業内容

会社概要

2022年3月期 通期業績概要

2022年3月期 通期業績ハイライト

通期決算概要

- 直販営業に加え販売パートナー経由の販売に注力してきたことが奏功し、導入企業の増加によるストック収入が順調に増加し、売上高は、前期比+53百万円（107.1%）の808百万円と増収
- 成長のための開発投資や人材投資を計画的に進めており、ソフトウェア減価償却費や人材採用費が前期比増加したことに伴い、営業利益は、前期比▲17百万円の18百万円と減益

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績(連結)	2022年3月期 実績(連結)	2022年3月期 実績(連結)		2022年3月期 当初業績予想 (連結) (2021/5/14公表)	達成率
			前年差	前年比		
売上高	754	808	+53	107.1%	905	89.3%
営業利益	35	18	▲17	52.0%	81	22.9%
経常利益	35	14	▲20	41.6%	75	19.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	10	▲20	35.1%	49	22.2%

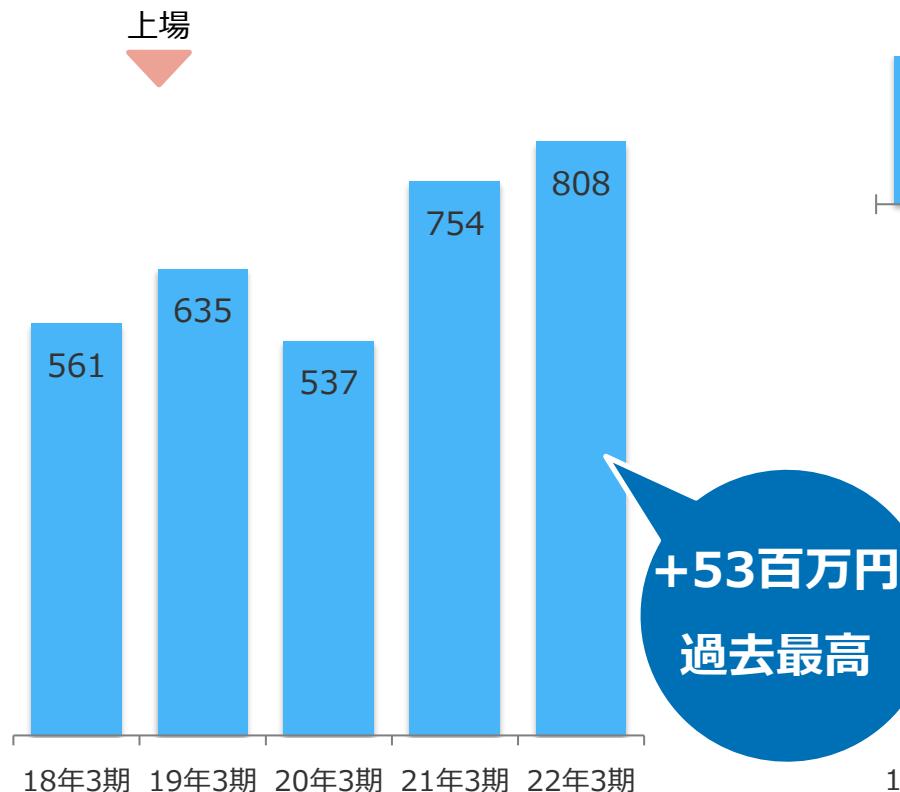
	2021年 3月末実績(連結)	2022年 3月末実績(連結)	2022年 3月末実績(連結)	
			前期末差	前期末比
総資産	940	964	+23	102.5%
純資産	404	440	+36	108.9%
自己資本比率	42.4%	45.1%	+2.7pt	

2022年3月期 通期業績ハイライト

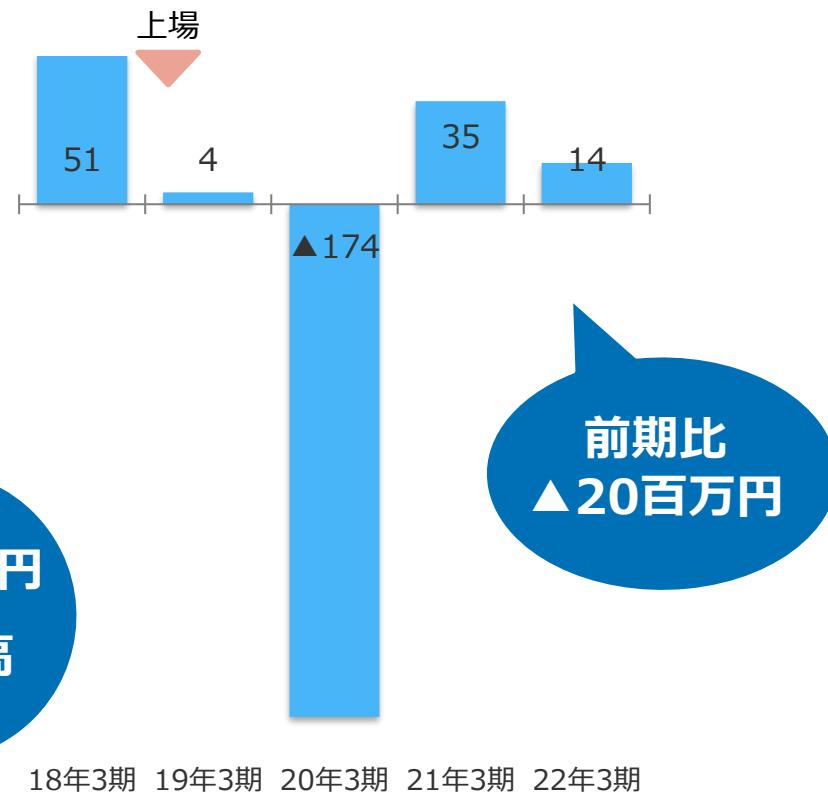
通期業績指標推移

- 売上高は、前期比+53百万円（107.1%）の808百万円と引き続き伸長
2018年4月の上場以降過去最高を更新
- 新規契約によるストック収入の増加が寄与し売上高は増収なるも、ソフトウェア減価償却費や人材採用費が前期比増加したことに伴い、経常利益は、前期比▲20百万円減益の14百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比▲20百万円減益の10百万円
- 製品戦略の転換、販売パートナー戦略等が着実に奏功
デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進は、引き続き後押し

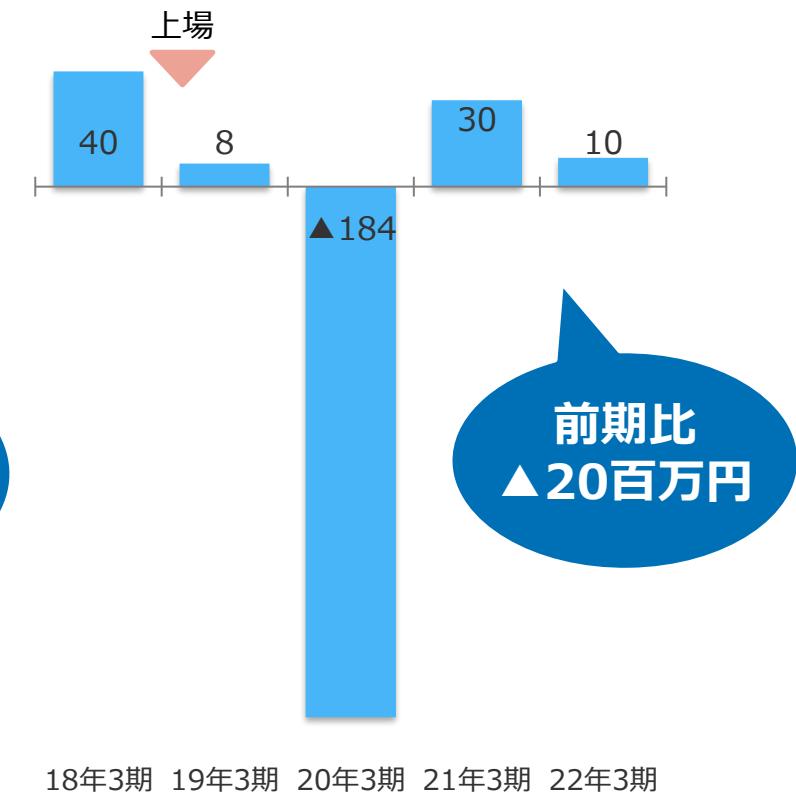
■ 売上高



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



(単位：百万円)

※当社は、2020年3月期より連結財務諸表を作成しております。従い、2019年3月期以前の実績は単体実績を記載しており、比較は参考値となります。

2022年3月期 通期業績ハイライト

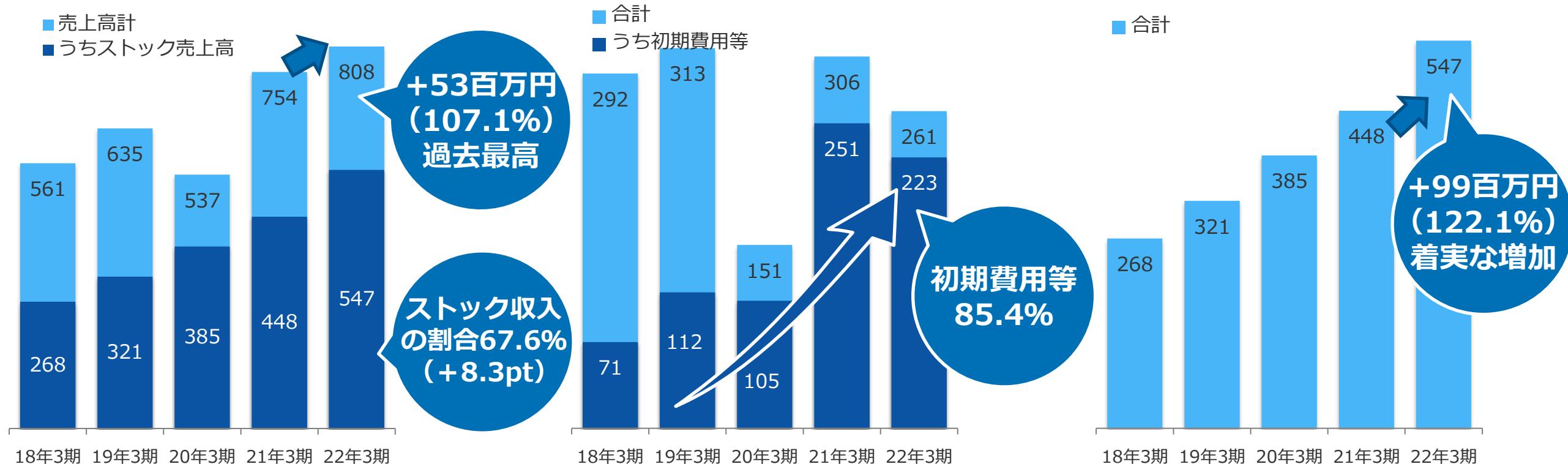
通期売上高推移

- ストック収入は、前期からの新規導入社数の増加が寄与し、前期比+99百万円（122.1%）の547百万円と着実に増加
- 売上高に占めるストック収入の割合も、約7割となる67.6%（前年同期比+8.3pt）と大きな柱に成長
- 一方、BtoBサブスクリプションの導入やビジネスモデル転換が想定よりも緩やかに推移し、商談のクローズも想定より期間を要するケースがでたことなどから、スポット収入は、前期比▲45百万円（85.2%）と減少
- スポット収入に占める初期費用等の割合は、8割を超える85.4%（前期比+3.6pt）と引き続きスポット収入を牽引

■ 売上高

■ スポット収入

■ ストック収入



※初期費用等には、初期費用（基本）、初期費用（オプション）、導入支援費、有償検証費、追加費用（基本アップグレード）、等を含みます。

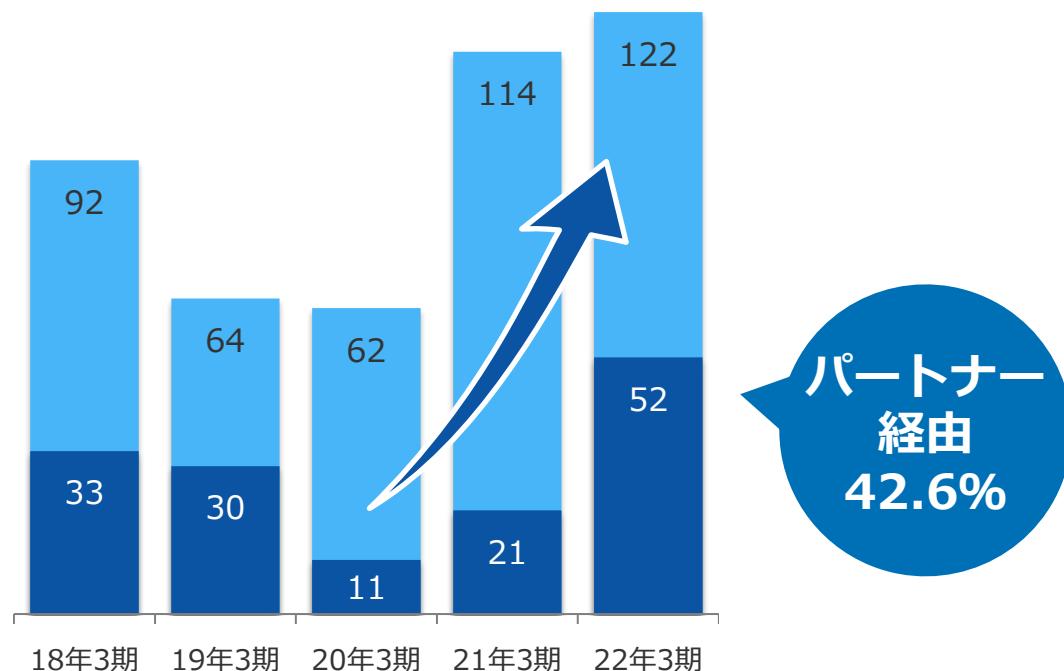
（単位：百万円）

※当社は、2020年3月期より連結財務諸表を作成しております。従い、2019年3月期以前の実績は単体実績を記載しており、比較は参考値となります。

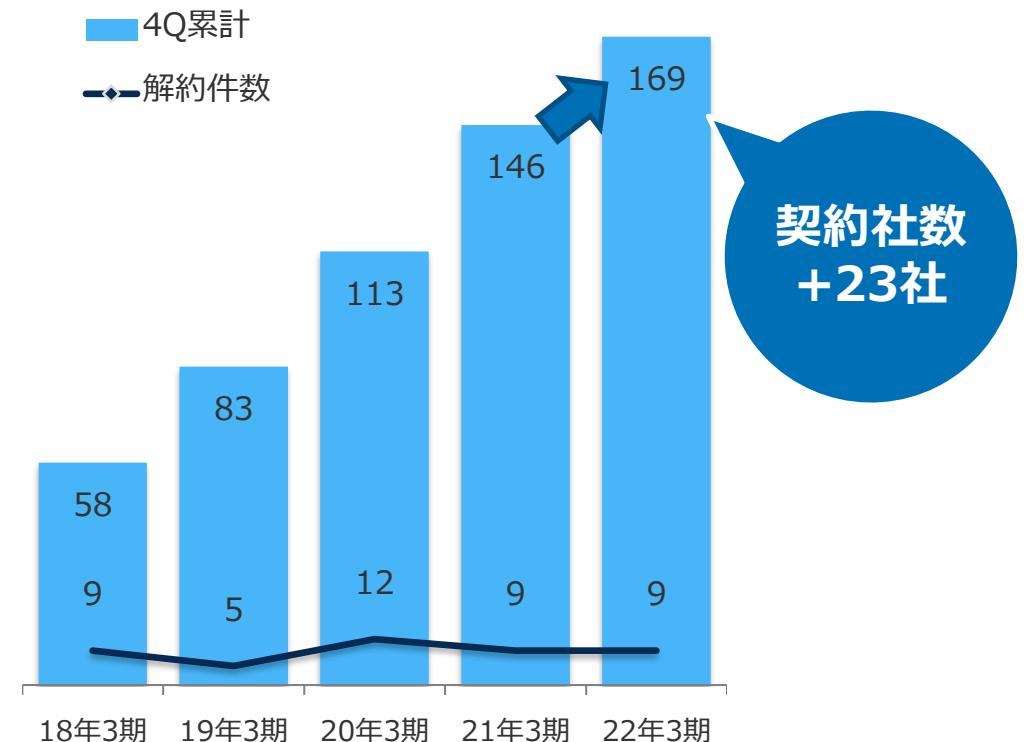
通期導入状況

- スポット受注件数は、122件（前年同期比+8件）と、前期比で着実に増加
- 協業契約が進み、販売パートナー経由での新規・追加導入が立ち上がり、スポット受注件数に占める販売パートナー経由の件数割合は42.6%（前年同期比+24.2pt）と販売パートナーによる営業成果が着実に進捗
- 契約社数も、前期末比+23社（115.7%）と着実に増加

■ スポット受注件数



■ 契約社数



※契約社数は無償版契約社数を含みます。

2022年3月期 通期連結損益計算書

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績(連結)	2022年3月期 実績(連結)	2022年3月期	
			前年差	前期比
売上高	754	808	+53	107.1%
売上原価	323	377	+53	116.6%
売上総利益	430	431	+0	100.0%
販売費及び 一般管理費	395	412	+17	104.3%
営業利益	35	18	▲17	52.0%
経常利益	35	14	▲20	41.6%
税金等調整前 当期純利益	24	14	▲9	59.9%
法人税等合計	4	4	+0	100.2%
当期純利益	20	10	▲9	51.2%
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲10	▲0	+10	5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	10	▲20	35.1%

- 売上高
ストック収入が、新規導入社数の増加により、前期比+99百万円(122.1%)と着実に増加
- 売上原価
継続的なソフトウェア開発投資を行っており、減価償却費が前期比で+27百万円、外注加工費が前期比で+27百万円、それぞれ増加
- 販売費及び一般管理費
人材の採用を積極的に進めており、採用教育費を含む人件費が前期比で+12百万円増加

2022年3月期 通期連結貸借対照表

(単位：百万円)

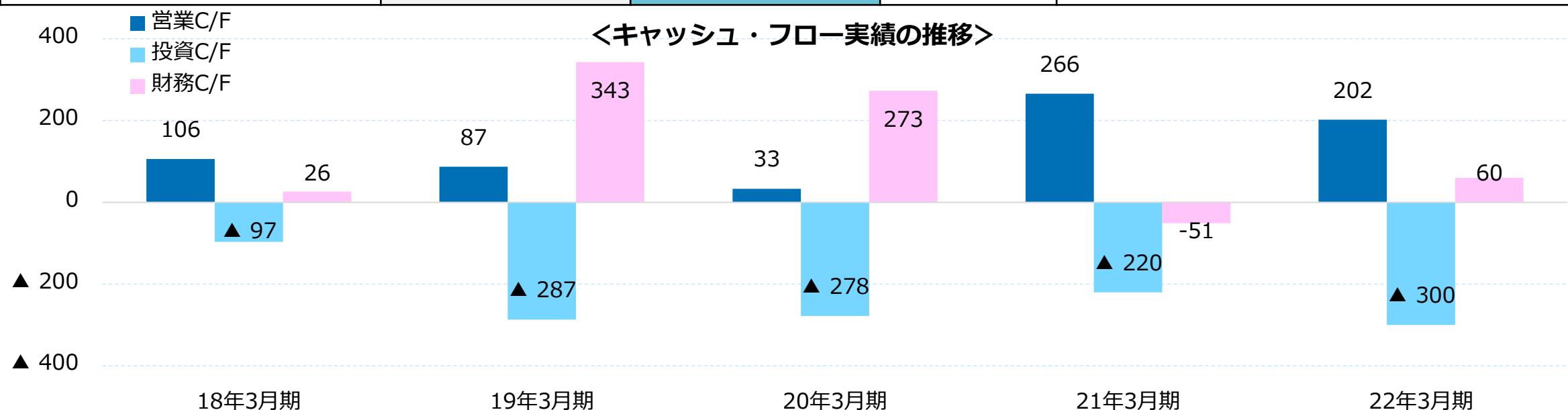
	2021年 3月末実績 (連結)	2022年 3月末実績 (連結)	前期末差	前期末比
資産合計	940	964	+23	102.5%
流動資産	460	408	▲51	88.8%
固定資産	480	555	+75	115.6%
負債合計	536	523	▲12	97.6%
流動負債	438	272	▲165	62.2%
固定負債	98	251	+152	255.6%
純資産	404	440	+36	108.9%
株主資本	398	435	+36	109.2%
非支配株主 持分	5	5	▲0	89.1%

- 流動資産
現預金の減少、および売掛金の回収に伴う減少
- 固定資産
計画的かつ継続的なソフトウェア開発投資を推進
- 流動負債
長期借入金への借り換えにより短期借入金が増加
- 固定負債
短期借入金からの借り換えにより長期借入金が増加
- 純資産
自己資本比率は45.1%
(前期末42.4%)

2022年3月期 通期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	増減	主要因	
				増減	主要因
営業活動によるC/F	266	202	▲63	減価償却費	235
				株式報酬費用	17
				売上債権の減少額	15
				税金等調整前当期純利益	14
				未払法人税等の支払額	▲32
				未払金の減少額	▲23
投資活動によるC/F	▲220	▲300	▲80	無形固定資産の取得による支出	▲293
財務活動によるC/F	▲51	60	+111	長期借入れによる収入	400
				短期借入れによる収入	150
				長期借入金の返済	▲146
				短期借入金の返済	▲350
現金及び現金同等物の増減額	▲5	▲37	▲31		
現金及び現金同等物の期末残高	283	246	▲37		



※当社は、2020年3月期より連結財務諸表を作成しております。従い、2019年3月期以前の実績は単体実績を記載しており、比較は参考値となります。

2023年3月期 通期業績予想

2023年3月期 通期業績予想

2023年3月期 通期業績予想

- コンタクトレス・エコノミーへの対応や新しい働き方など、事業者のデジタル・トランスフォーメーション（DX）への関心の高まりを背景に、BtoBのサブスクリプションビジネスに対する潜在的なニーズが高まっていることから、引き続き、新しいデジタル共創を支援するプラットフォームシステムとして受注増加に注力
- 主力製品の機能強化を引き続き積極的に実施。カスタマーサクセスを強化し、新機能オプションの提供やアップグレードを推進
- 販売パートナーとの協業など様々なチャネルを最大限活用することで、リード獲得から商談化への営業活動を一層推進し、受注増加、契約社数の増加に注力

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績(連結)	2023年3月期 業績予想(連結)	2023年3月期	
			前年差	前年比
売上高	808	992	183	122.6%
営業利益	18	152	133	818.5%
経常利益	14	142	127	973.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	128	117	1,176.3%

※ ソフトウェアの償却期間の変更（3年→5年）に伴い、ソフトウェア資産の減価償却費が、変更前と比べ125百万円程度減少することを見込んでおります。

事業の業況

1 DX支援プラットフォームとしての事業推進

新型コロナウイルスの感染拡大により、コンタクトレス・エコノミーへの対応が求められる。当社主力製品「Bplats® Platform Edition」はそのような新たなステージに向かおうとする企業の取り組みを後押しし、あらゆる産業のビジネス変革に貢献することで一層の支持を受けるものと期待。

直販営業に加え、販売パートナーの拡充・強化により契約社数の拡大に引き続き拡販に注力。更に、デジタル・トランスフォーメーション（DX）を目的とした新しいデジタル共創を生み出すためのサブスクリプションプラットフォームとしての提案を強化。

2 新サービス「Bplats® Connect」を今夏より提供開始 “新しいつながり、新しいデジタル共創”を促進

自社のサブスクリプションサービスを他事業者のサブスクリプションマーケットプレイスを通じて提供できる新サービス「Bplats Connect」を開発。

大手のサブスクリプションマーケットプレイスを展開する事業者に、自社のサブスクリプションサービスを登録し、新しい顧客層にサービスや商品を提供することや、複数の「Bplats」の利用者が集まって、一つのマーケットプレイス型サイトを新たに開設することにより、スマートシティやスマートビルディングといった個々の目的にあった新たなマーケットプレイスに参加する各企業のサブスクリプションを簡単に取りまとめ、新規のビジネスを立ち上げることが可能に。

進化を続ける世の中のニーズに合わせ、サブスクリプションをつくる、管理するという時代から、サブスクリプションを使いこなして、“新しいつながり、新しいデジタル共創”を行う時代に向けたサービスの提供をしていくことで、サステイナブルな社会へと貢献。

販売体制の強化 販売パートナー

プラットフォーム協業パートナー



エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社



富士通株式会社



東京センチュリー株式会社



PCIソリューションズ株式会社

販売パートナー



NECソリューションイノベータ

NECソリューションイノベータ株式会社



株式会社エヌ・ティ・ティ・データ



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



SCSK株式会社



BIPROGY株式会社



株式会社電通国際情報サービス



GMOペイメントゲートウェイ株式会社



都築電気株式会社



扶桑電通株式会社

ニュースリリース等

2021年04月12日	新製品・新機能	サブスクリプション統合プラットフォーム Bplats®に新機能「会員証機能」を追加 ～サブスクリプションサービスの「オンライン」と「オフライン実店舗」による顧客接点をサポート～
2021年05月10日	新製品・新機能	サブスクリプション統合プラットフォームBplats®において新サービス「Bplats® Connect」を今夏展開予定 ～自社のサブスクリプションサービスを他事業者のサブスクリプションマーケットプレイスに～
2021年05月11日	新製品・新機能	サブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®」においてアドビと提携し電子サイン機能を追加 ～サブスクリプション契約の真正性を担保し、履歴の追跡を可能に～
2021年07月20日	採用	トヨタファイナンス「TFC SubscMall」に Bplats®を採用
2021年07月21日	採用	カメラブ、トヨタファイナンスとの連携に「Bplats®」を採用
2021年09月08日	その他	サブスクリプションに関する産学共同研究に参画 ～日本管理会計学会において2021年度の研究テーマにサブスクリプションが採択、連結子会社の株式会社サブスクリプション総合研究所が産学共同研究に参画～
2021年10月20日	新製品・新機能	サブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®」において 新機能「契約書作成機能」と「Adobe Sign」を連携し、提供開始 ～契約時にサービス利用者と事業者の双方が同意した契約内容や規約を「契約書」として自動で PDF 作成。Adobe Sign と連携し、電子サインによるオンライン契約までを一気通貫に実現します～
2021年11月24日	販売パートナー	日本ユニシスとビープラッツ「サブスクリプションビジネス」の協業を開始

主要トピックス

(2021年10月20日公表)

サブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®」において 新機能「契約書作成機能」と「Adobe Sign」を連携し、提供開始 ～契約時にサービス利用者と事業者の双方が同意した契約内容や規約を「契約書」として 自動でPDF作成。Adobe Signと連携し、電子サインによるオンライン契約までを 一気通貫に実現します～

ビープラッツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 健治、以下、ビープラッツ）は、主力製品であるサブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®（ビープラッツ®）」（以下、「Bplats」）を活用いただく事業者に対し、新機能「契約書作成機能」に「Adobe Sign」を連携し、本日より提供を開始することを発表します。

サブスクリプション型商品とは、継続的な契約行為を基とするものであり、これらの契約においていかに真正性を担保し、履歴の追跡を可能にするかは、社会のなかでサブスクリプション型商品が増加し主流となっていくうえでの、産業的課題であるといえます。

サブスクリプション契約に於いては、サービス利用者により、サブスクリプション型商品の契約の変更や追加などが繰り返し行われます。また、事業者はサブスクリプション型商品を常に進化更新させていく為、それに付随する契約や規約も頻繁に変更されることとなります。

これまで、サブスクリプション契約のオンライン申込では、チェックボックス型の「規約に同意する」という方法が一般的に用いられていますが、初回申込時と契約更新時の規約が変更になっているなどが考えられ、特に企業向けB2Bサブスクリプションの取引に於いては、引き続き「書面契約」をオンラインと併用するなど、真正性の担保や履歴の可視化はデジタル化推進の課題となっています。

新機能「契約書作成機能」では、サービス利用者と事業者が、契約内容を自動で「契約書」としてPDF作成し、オンライン上で確認ができるようになります。対象となるサービスと契約書とが紐づけて管理されるため、利用しているサービスの内容や条件、規約などを書面で管理、確認することができます。また契約内容が変更・更新され、新たに契約を締結し直した場合にも最新の契約書を書面化し保存しておくことができ、契約変更の履歴も確認いただけるようになります。サービス利用者は、マイページより、事業者は管理機能より、双方が契約書内容の確認や出力ができるようになります。

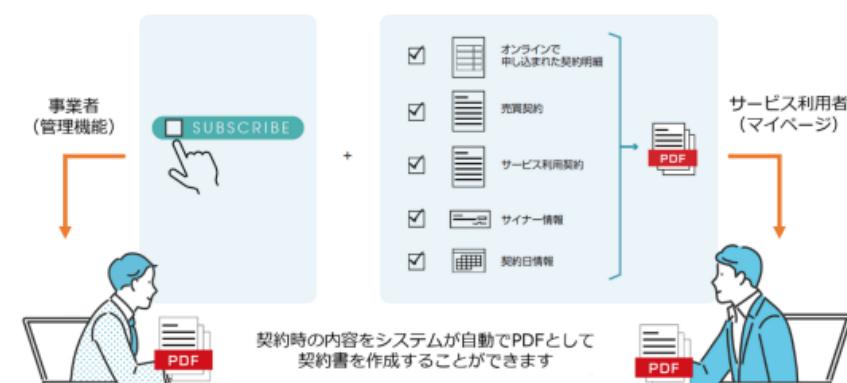
また、「契約書作成機能」と「Adobe Sign」が連携したことで、PDF作成した契約書に、電子サインにより一気通貫に契約行為を完結することができます。

<アドビ株式会社 パートナー営業本部 執行役員 本部長 長岡昌吾様のコメント>

Bplatsの「契約書作成機能」と「Adobe Sign」の連携を歓迎いたします。新型コロナウイルス感染症の拡大でテレワークが続く中、契約業務の効率化が求められています。今回の連携により、益々電子契約の効率的な運用が可能になります。引き続きビープラッツ様と協力して、企業のデジタルトランスフォーメーションと働き方改革を支援してまいります。

<「契約書作成機能」概要>

事業者は管理機能より「契約書作成機能」を用いて「契約書」としてPDF化する内容をテンプレートとして自由に設計することができます。事業者が設計したテンプレートに基づき、サービス利用者からの契約申し込み時に、システムが自動でPDFを作成し、サービス利用者と事業者の双方で確認できるようになります。



主要トピックス

(2021年7月20日公表)

トヨタファイナンス「TFC SubscMall」に「Bplats®」を採用

ビープラッツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 健治、以下、ビープラッツ）は、トヨタファイナンス株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：西 利之、以下、トヨタファイナンス）が展開する「TFC SubscMall」において、当社の主力製品であるサブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®」が採択されたことをお知らせいたします。

サブスクリプションのマーケットプレイスの開設、全国のトヨタの販売店様などが参加し、店舗とオンラインを融合した顧客接点の創出などにより、サブスクリプションの新しいビジネスモデルの実現にBplatsをご活用いただきます。また、サブスクリプションビジネスを展開する外部事業者の商材を新機能「Bplats® Connect」の活用することで品揃えすることなどにより、お客さまの多様なニーズにお応えする様々な企業が参加できる仕組みを創出してまいります。

ビープラッツは、新しい顧客体験をサブスクリプションモデルで提供する新しいつながり、新しいデジタル共創を支援してまいります。

<「TFC SubscMall」とは>

「TFC SubscMall」は、お客さまのモビリティライフの充実と生活サービスをより快適に楽しんでいただけるサブスクリプションプラットフォームで、カー用品や暮らしに便利なサービスを月々定額でご利用いただけます。

また、「TFC SubscMall」と各サブスクリプションサービスプロバイダー間での商品情報の提供や受発注、サブスクリプション契約情報等の管理等は、Bplatsのつながる機能で実現しております。

▽トヨタファイナンスプレスリリースはこちら

<https://www.toyota-finance.co.jp/newsrelease/entry/20210720.html>

[TFC SubscMall]



[本サービスのシステム基盤は、ビープラッツ株式会社の「Bplats®」を採用]

主要トピックス

(2021年5月10日公表)

サブスクリプション統合プラットフォームBplats®において 新サービス「Bplats® Connect」を今夏展開予定

～自社のサブスクリプションサービスを他事業者のサブスクリプションマーケットプレイスに～
“新しいつながり、新しいデジタル共創”を促進

ビープラッツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 健治、以下、ビープラッツ）は、主力製品であるサブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®（ビープラッツ）」の利用者に対し、新サービス「Bplats® Connect（ビープラッツ コネクト）」を今夏より提供開始します。

個人が利用するスマートフォンなどには、さまざまなアプリケーションをワンストップにて提供するプラットフォームが存在します。一方、企業間取引を伴うサブスクリプション・ビジネスにおいては、料金の複雑さや、契約形態の煩雑さなどから、複雑かつ複数におよぶサブスクリプションを取りまとめる機能を提供するサービスは、これまでありませんでした。

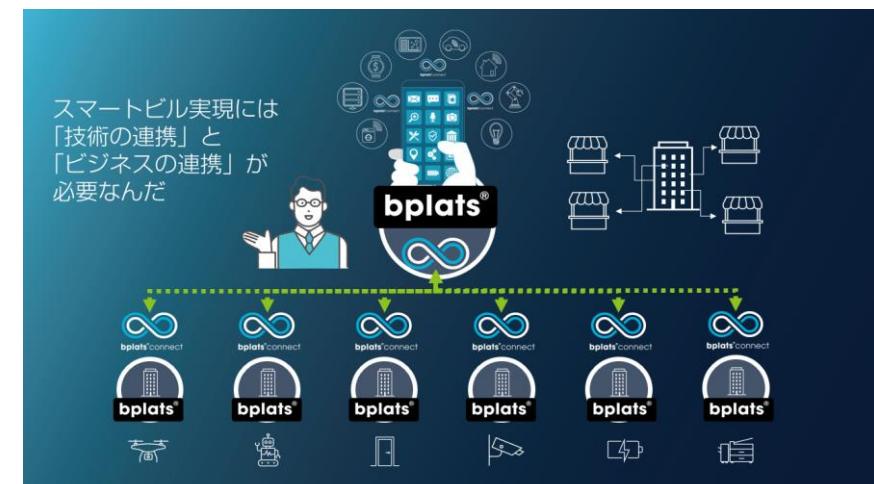
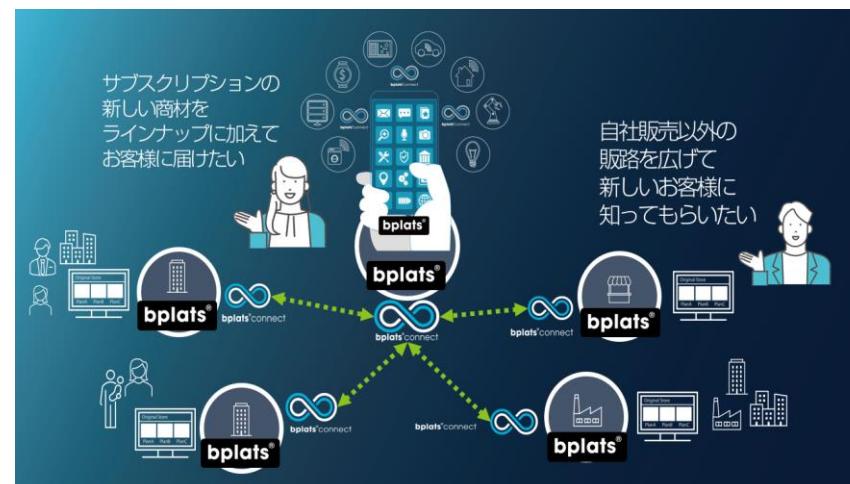
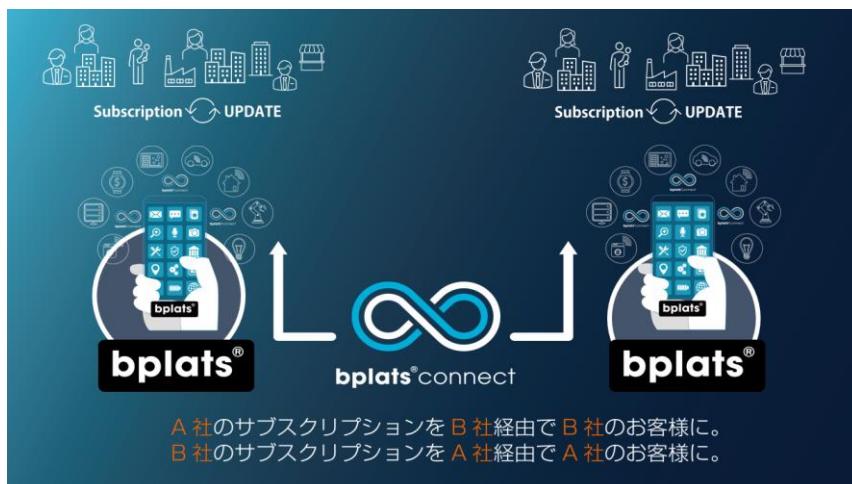
新サービス「Bplats Connect」を活用すると、「Bplats」の利用者が、他の「Bplats」の利用者と、商品情報や契約情報、請求情報をその条件にあわせて「つながる」ことができるようになります。これによって、大手のサブスクリプションマーケットプレイスを展開する事業者は、自社のサブスクリプションサービスを登録し、新しい顧客層にサービスや商品を提供することや、複数の「Bplats」の利用者が集まって、一つのマーケットプレイス型サイトを新たに開設することにより、スマートシティやスマートビルディングといった個々の目的にあった新たなマーケットプレイスに参加する各企業のサブスクリプションを簡単に取りまとめ、新規のビジネスを立ち上げることが可能になります。

また、「Bplats」の利用者同士であれば、追加の開発や相手先にあわせた業務運用の再構築などは一切不要で、これらの新しいつながりを簡単に実現することができるため、非常に画期的なサービスと言えます。

1. 「Bplats Connect」の活用により、他の「Bplats」利用者のサブスクリプションを簡単に取り扱うことができるようになります。

2. 「Bplats Connect」の共創先は複数可能ですので、他のサブスクリプションマーケットプレイスへの出展などが実現可能となります。

3. スマートビルディングや、スマートシティを実現する場合、「Bplats Connect」を活用すれば、参加企業のシステム開発などの負荷がなくワンストップ管理が実現できます。



事業内容

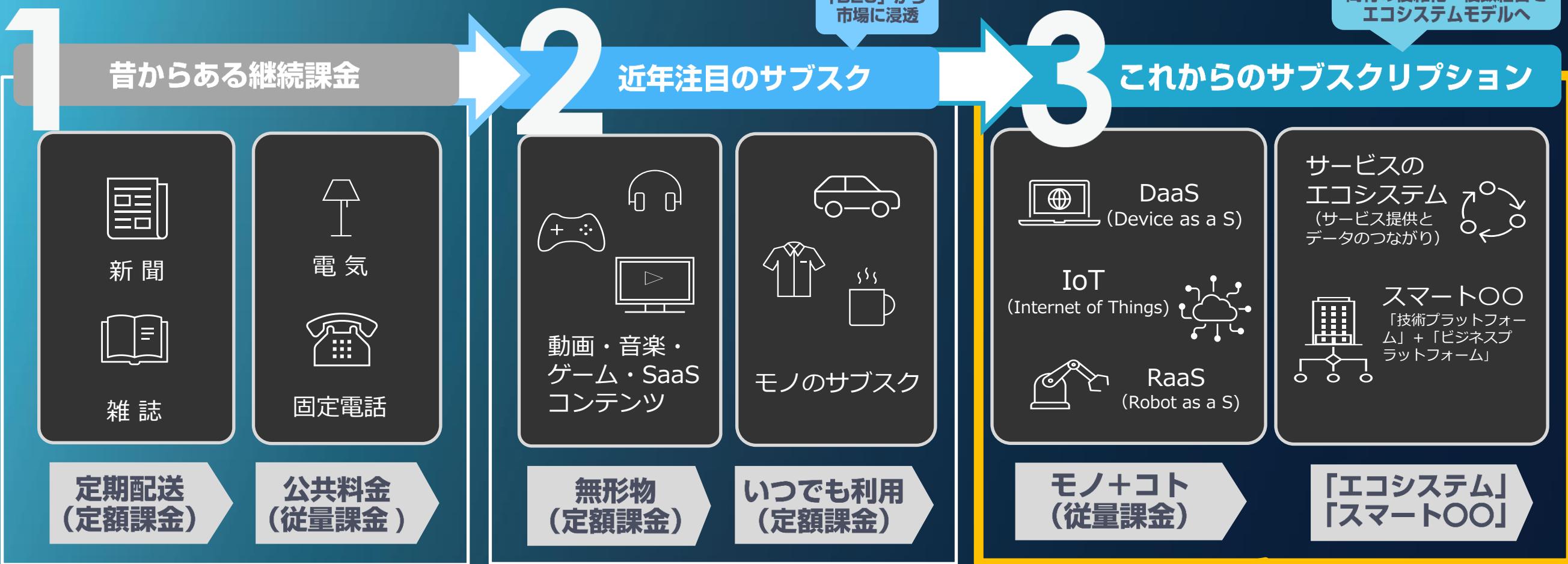
新しいつながり、新しいデジタル共創



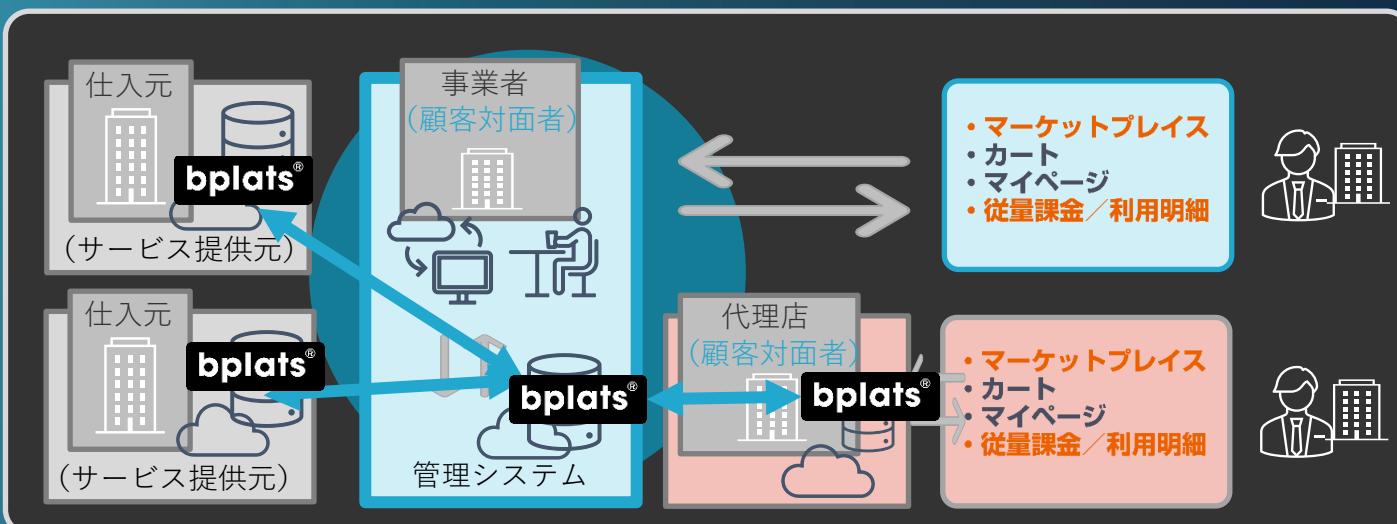
市場背景 (サブスクリプションの変遷)

法人顧客に合わせた
商材の複雑化・複数組合せ
エコシステムモデルへ

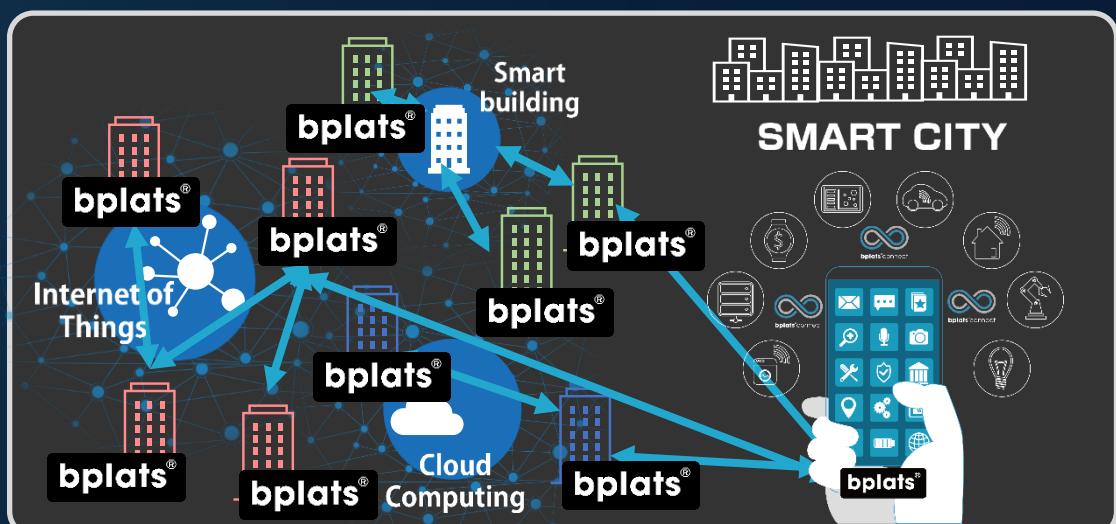
「B2C」から
市場に浸透



これからのサブスクリプションで求められるビジネスモデルとシステム



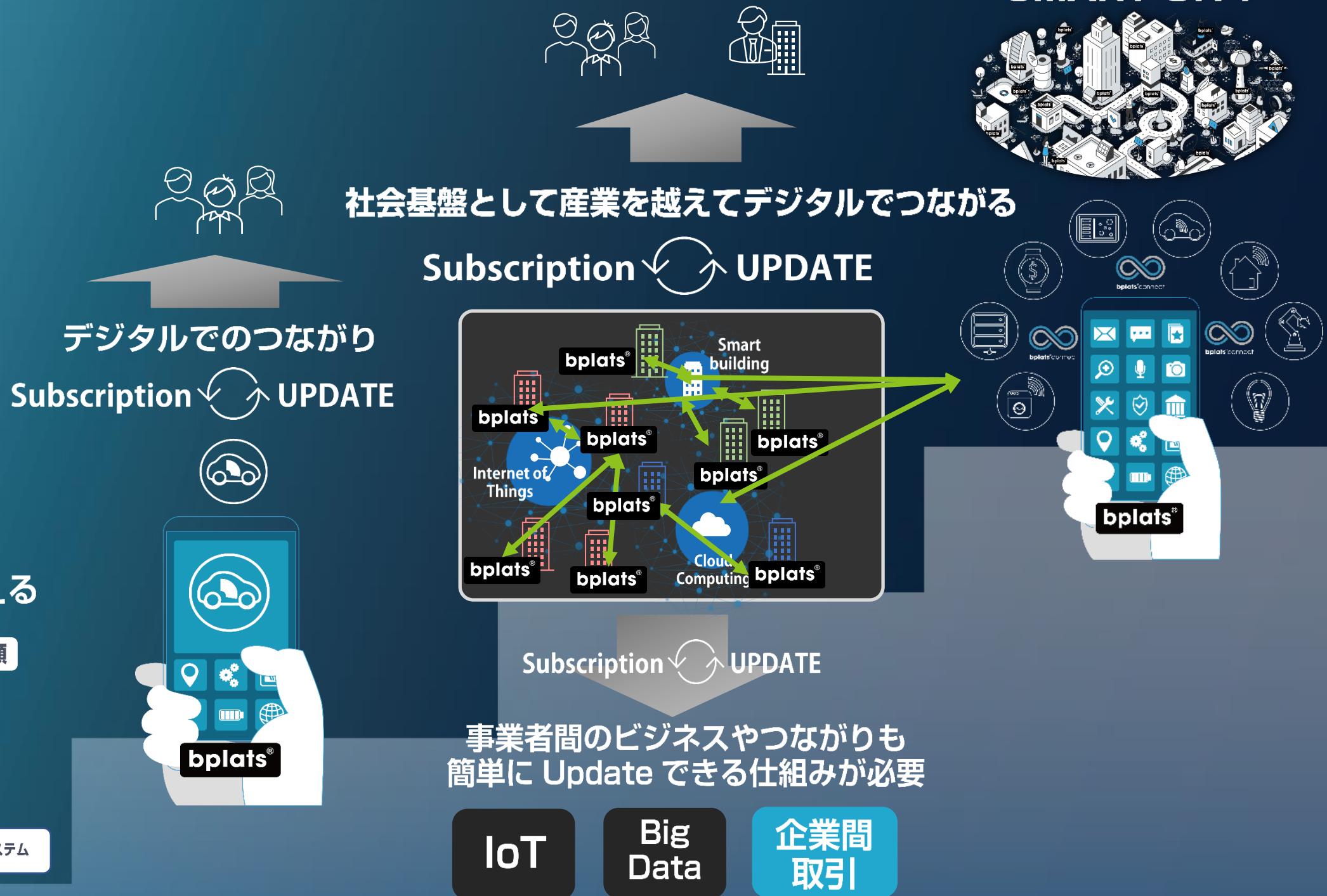
取引先間でのつながり (契約・請求情報のデジタル連携)



社会基盤として産業を越えてデジタルでつながる

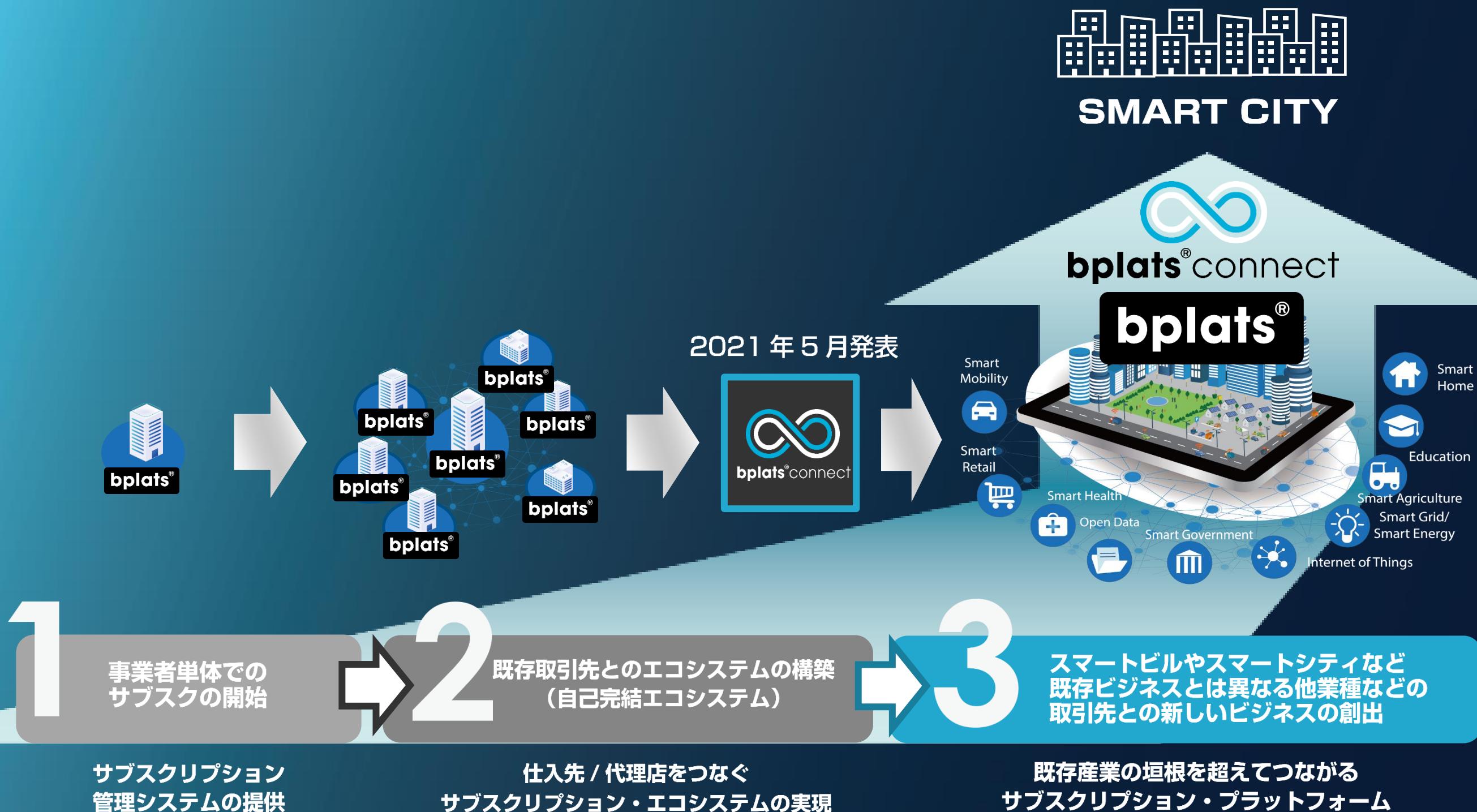
新しい時代へのビジネスモデルの進化

SMART CITY



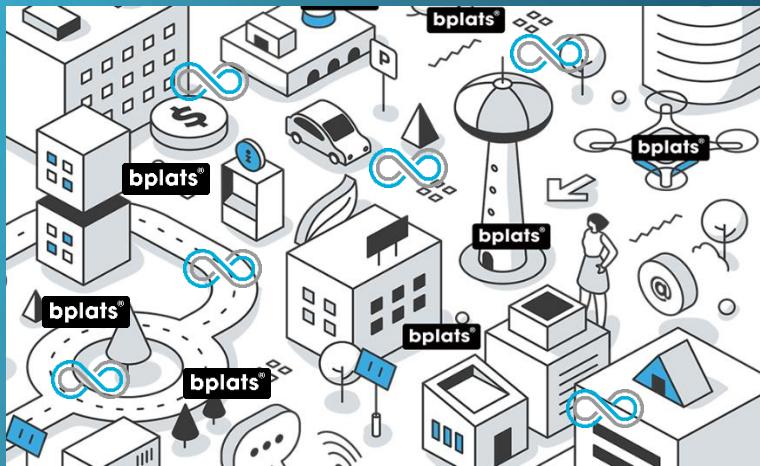
社会課題を解決する手段として、サブスクリプション化されたサービスが次々と世の中に提案されつつあります。それらを活用した「スマートでサステナブルな新しい社会」を実現するため、サブスクリプションの企業間取引を管理するための「新しいプラットフォーム」が必要となります。既存産業の垣根を越えて、さまざまなサブスクリプションをつなぐことを実現します。

ビープラッツの描く事業モデルの未来図

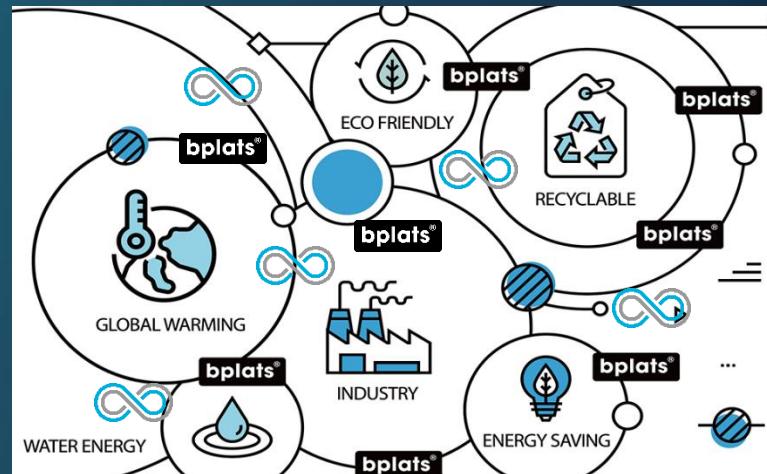


Bplats®は、事業者が自社のサブスクリプション化を実現すること（ステップ1）、自社の仕入先や代理店とのつながりを実現すること（ステップ2）により既存取引先とのエコシステムを構築することが可能です。2021年5月に発表した「Bplats® Connect」により、既存産業の垣根を越えて、「新しいつながり、新しいデジタル共創」を実現してまいります。

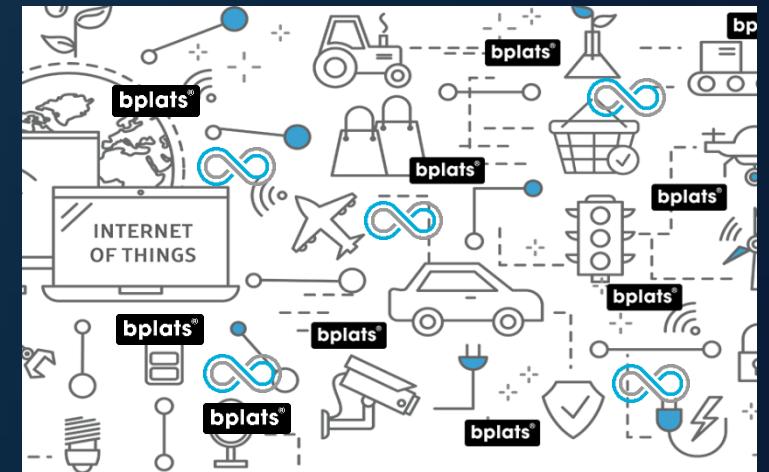
ビープラッツの新サービス



スマートでサステイナブルな
「新しい社会」



ゼロカーボンシティを目指す
「新しい都市」



デジタルがつながる
「新しいデジタル流通」

 **bplats[®] connect**

サブスクリプションの新しいビジネスのカタチはじまる

これまでのサブスクリプションの議論は「どのようにサービス化するか、管理するか」が中心でしたが、これからは「サブスクリプションを前提としてどう使いこなすのか」というフェーズに変わってきています。サブスクリプションを流通させるプラットフォームを開発し提供することにより、日本企業のデジタル化、デジタルトランスフォーメーションを推進してまいります。

システム概要：機能一覧

bplats®

Subscription Marketplace/Store

顧客情報管理

レスポンスデザイン

CMS自由ページ

個別見積機能



独自ドメイン

必須入力管理

・テンプレート
・CSSデザイン対応

二要素認証

Subscription Mypage

契約変更・解約手続

オンライン請求書

外部決済連携

顧客ロール管理

ファイル管理

・クレジットカード決済
・銀行口座振込決済
・銀行口座引落決済
・NP掛け払い決済
・Paid決済

契約明細・請求明細

顧客情報連携

2

3



仕入
管理

商品
管理

顧客
管理

見積
管理

注文
管理

契約管理

売上
管理

請求
管理



Subscription Console

基本機能

基本設定機能

課金ルール管理

申請書管理

担当者管理

ストア管理

独自デザイン

ダッシュボード

シリアル管理

メール管理

消費税表示管理

出力データcsv

カスタム項目

追加オプション機能

ロール権限管理

承認プロセス

契約分割機能

機器資産管理

従量料金計算

従量明細取込

光コラボモジュール

Microsoftモジュール

soracomモジュール

Bplats® API

csvファイル連携

言語(日英中)

パートナー機能

会員証機能

Subscription Analytics

Bplats® Connect

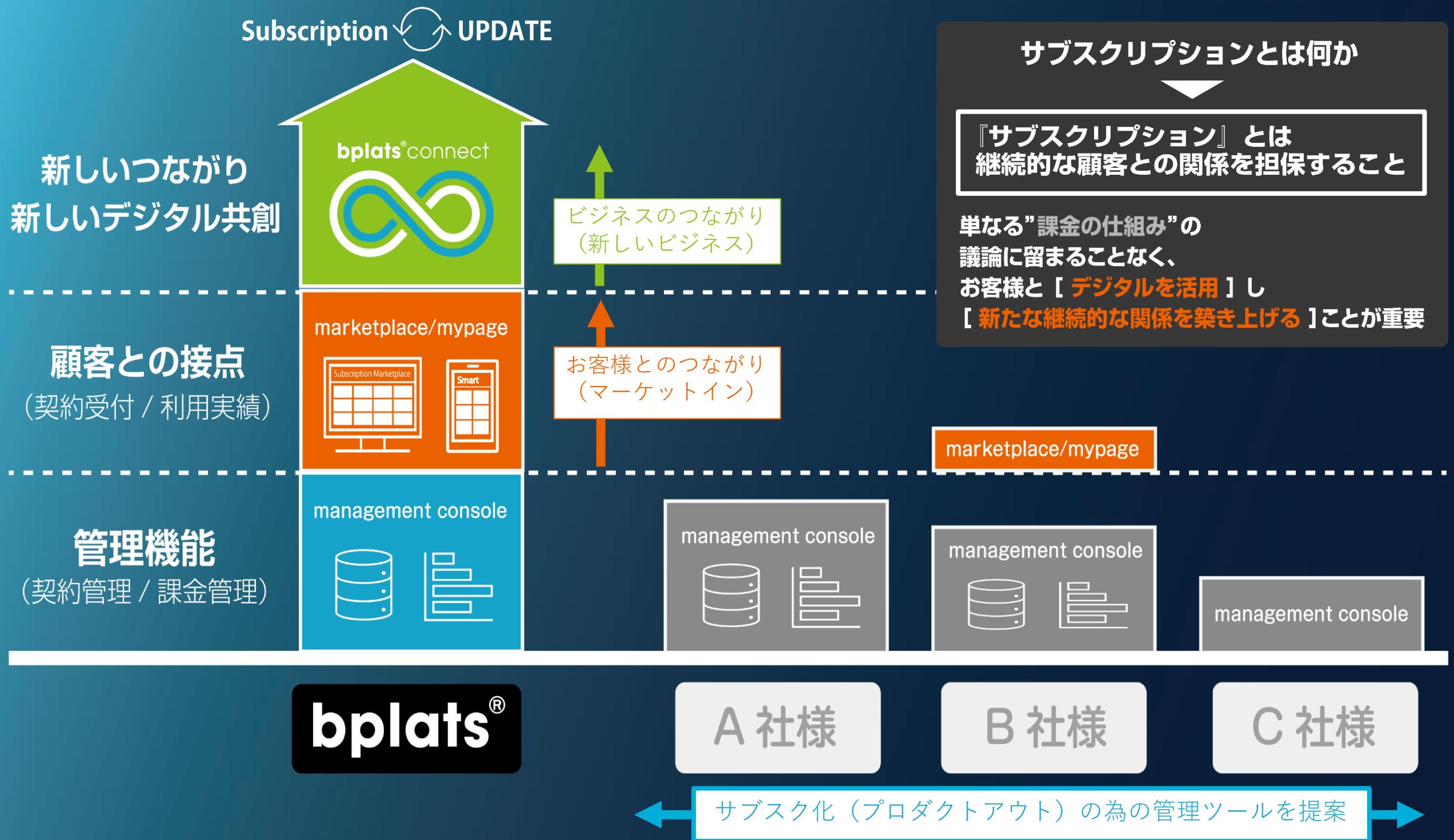
契約書作成

電子サイン

1

最も導入コストが安いライト版から①+②+③が標準でパックとなっており、標準機能（ブルー）をご活用いただけます。プロフェッショナル版以上のプランより、オプション機能（ホワイト）を有償で選択しご利用いただくことができます。標準機能の強化と新しいオプション機能の開発を継続的に実施しており、事業者は必要なときに必要な機能を選択して利用いただくことができます。

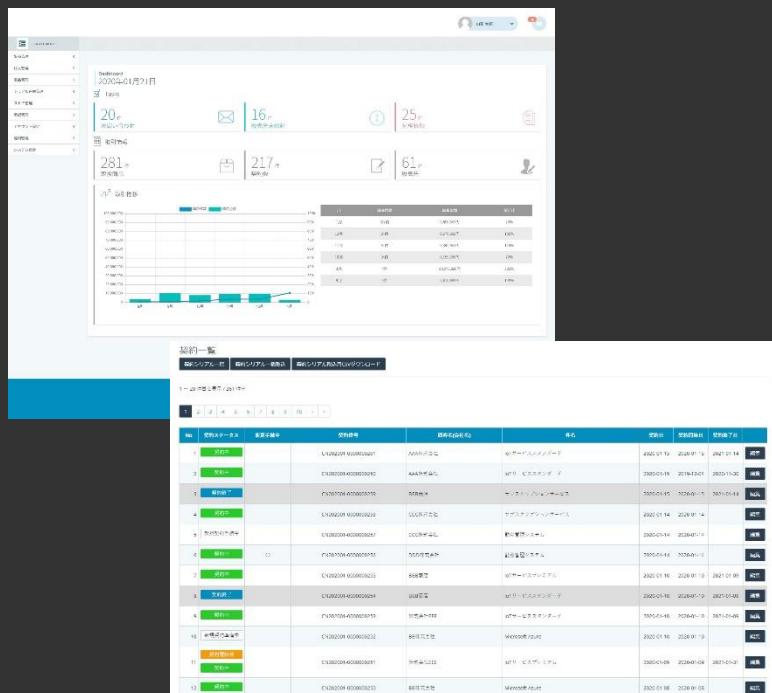
比較：「Bplats®」と「Bplats® 以外」



Bplats®以外のツールは、サブスク化の為の管理ツールの提供を目的としていますが、当社のBplats®は管理機能はもちろん豊富な機能を提供すると共に、お客様とのつながりのためのマーケットプレイス/マイページ機能、ビジネスの新しいつながり「Bplats® Connect」を提供しています。

システム概要：機能イメージ

1 管理機能



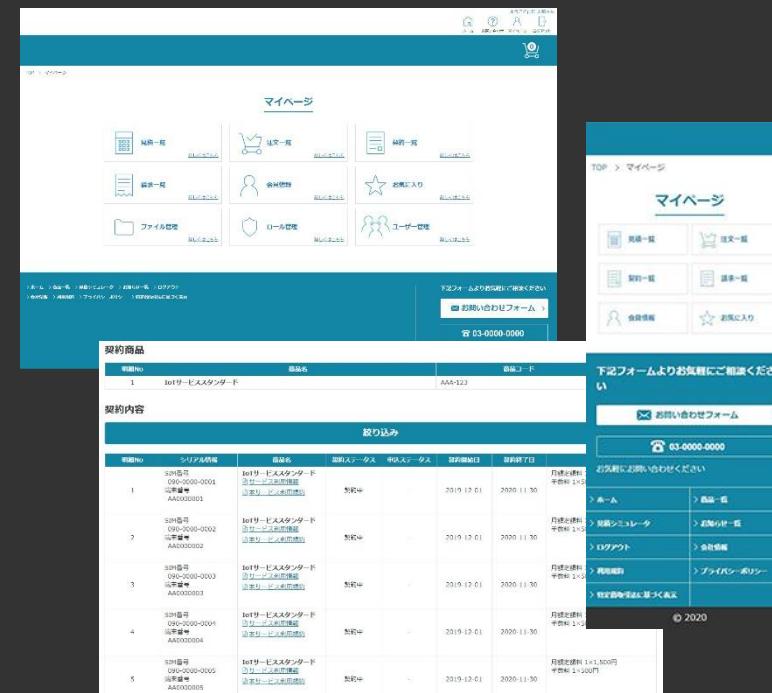
事業者にとって必要な機能や業務プロセスが詰まったサブスクリプション管理機能をワンストップで提供しています

2 マーケットプレイス機能



顧客との申込 / 変更 / 解約の業務プロセスを専門ストアやマーケットプレイスを通して効率化を図り、ビジネスチャンスを拡大します

3 マイページ機能



顧客にサブスクリプション契約の内容や過去の請求情報などをマイページとして提示し、顧客への手続きの簡便化、安心感の提示、顧客とのデジタルのつながりを実現します

Subscription Console

基本機能

- 基本設定機能
- 課金ルール管理
- 申請書管理
- 担当者管理
- ストア管理
- 独自デザイン
- ダッシュボード
- シリアル管理
- メール管理
- 消費税表示管理
- 出力データcsv
- カスタム項目

追加オプション機能

- ロール権限管理
- 承認プロセス
- 契約分割機能
- 機器資産管理
- 従量料金計算
- 従量明細取込
- 光コラボモジュール
- Microsoftモジュール
- soracomモジュール
- Bplats® API
- csvファイル連携
- 言語(日/英中)
- パートナー機能
- 会員証機能
- Subscription Analytics
- Bplats® Connect
- 契約書作成
- 電子サイン

Subscription Marketplace/Store

- 顧客情報管理
- 個別見積機能
- 必須入力管理
- レスポンスデザイン
- テンプレート
- CSSデザイン対応
- CMS自由ページ
- 独自ドメイン
- 二要素認証

Subscription Mypage

- 契約変更・解約手続
- 顧客情報管理
- 契約明細・請求明細
- オンライン請求書
- ファイル管理
- 顧客情報連携
- 外部決済連携
- クレジットカード決済
- 銀行口座振込決済
- 銀行口座引落決済
- NP掛け払い決済
- Paid決済

サブスクリプションビジネスのために必要な豊富な機能をワンストップで提供する「管理機能」（上記1）、複数・複雑な商材の利用者向けサイトを構築可能な「マーケットプレイス機能」（上記2）、利用者に契約内容や請求情報をオンライン上で提示することが可能な「マイページ機能」（上記3）をお客様は独自ブランドで活用いただけるクラウドサービスを提供しています。

システム概要：強み・特長

特長①

management console



モノとは異なり、複雑なビジネス条件（期間・課金・ルール・従量等）が商品に紐づくコト商材を『**複雑、複数、の商材を一つの仕組み**』で管理可能

☆サブスクリプション（サービス）商材は、B2Cはシンプルに、B2Bは複雑になるため、他社商材なども含めた複雑な商材、且つ、複数管理、そして、「コト（契約）+モノ（資産）」管理が必要となる

特長②

marketplace/mypage



『**契約申込・変更・解約**』などの契約に関連する顧客とのアクションをオンライン（マイページ、マーケットプレイス）で実現することが可能

☆商材ごとにことなる契約条件などをオンラインで実現することはハードルが高く、将来の商材を考慮してシステム構築できることは少なく、自社開発では拡張性が制限されることが予測される

特長③

つながる機能



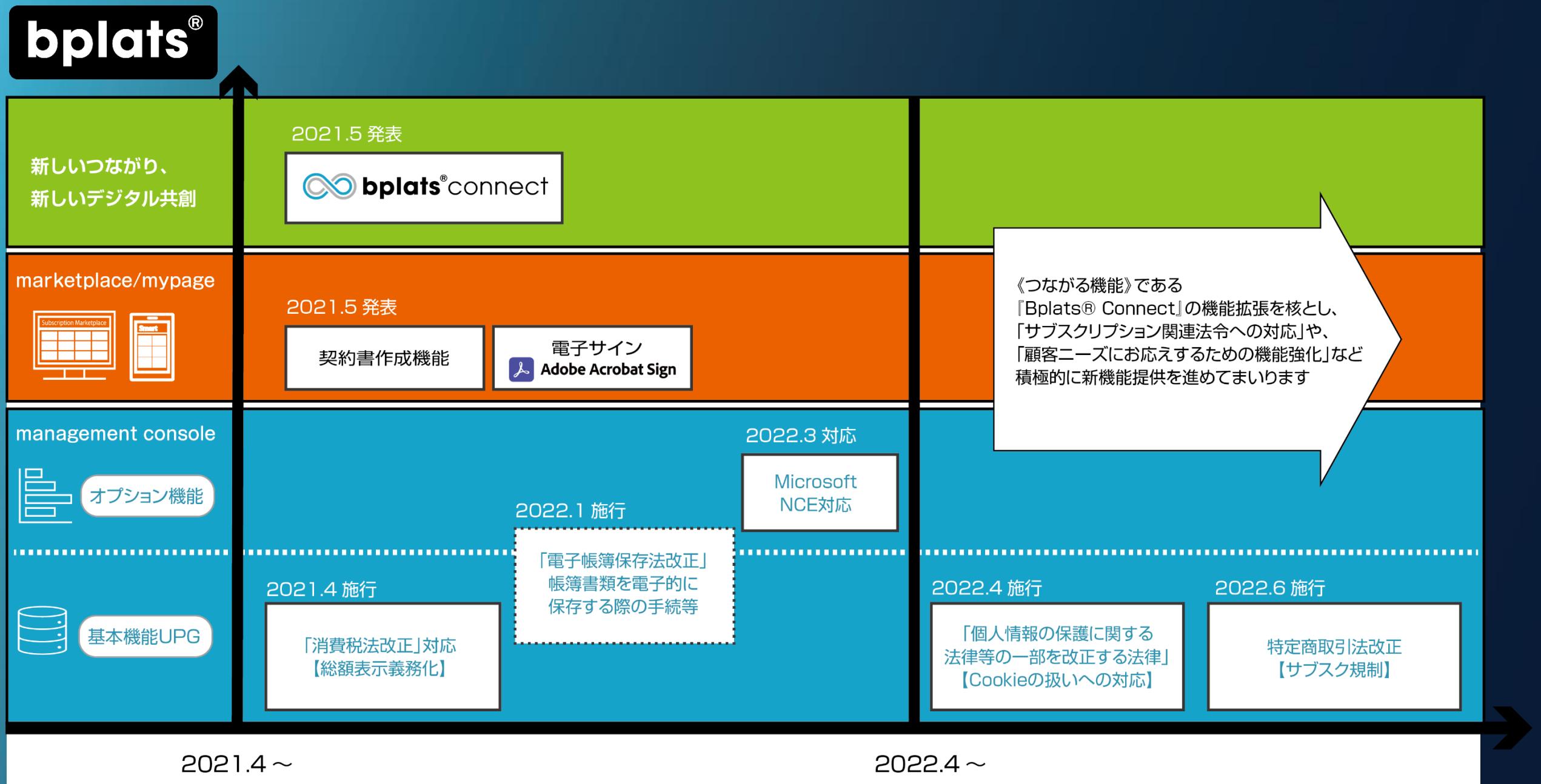
bplats®connect

導入会社1社のバックオフィスの管理機能ではなく、**取引全体のエコシステムがつながる仕組み**により、サービスとサービシーが「つながる」ことを実現

☆モノの商流 / 物流網とはまったく異なり、サブスクリプション（サービス）商材は、サービス（提供者）とサービシー（利用者）その間にいる事業者すべてが同じ情報を管理する必要がある

特長①複数・複雑なサブスクリプションの運用管理をワンストップで行うことを実現する管理機能の強み、特長②マイページ、マーケットプレイスを独自ブランドで展開できる強みや、それに加えて、特長③である2021年5月に発表した「Bplats® Connect」により、まったく新しい発想のサブスクリプションを前提とした「新しいつながり、新しいデジタル共創」を提案してまいります。

継続的な新機能発表・機能強化の実績

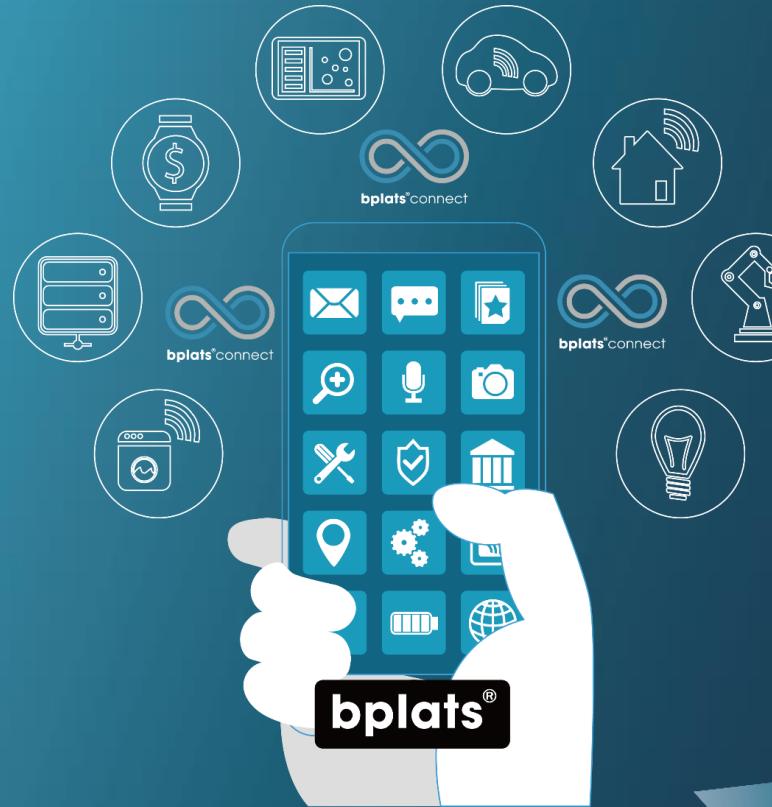


多様な顧客ニーズにお応えするため、2022年3月期には、自社サブスクリプションサービスを他事業者のサブスクリプションマーケットプレイスを通じて提供できる「Bplats Connect」を開発。また、継続的な契約行為を一気通貫で完結させるため、Adobe Acrobat Signと連携した「契約書作成機能」を発表、提供を開始しています。また、基本機能部分の機能強化も進めており、特に日本の法律に適合させるため、2021年4月の消費税の総額表示義務への対応や、2022年4月施行の改正個人情報保護法への対応など、サブスクリプション関連法令への対応も適切に実施しております。事業者は必要な機能をオプション機能として申込みことができ、当社はこれらにより収益を拡大してまいります。

ビープラッツの活動領域

新メッセージ

新しいつながり、新しいデジタル共創



サブスクリプションをすべてのビジネスに

デジタルトランスフォーメーションのための
サブスクリプション
統合プラットフォームシステム
「所有」から「利用」へ

スーパーシティ
サステナブルシティ
実現・推進の役割
社会基盤として産業を越えて
デジタルでつながる

サステナブルな社会の
実現に向けた
デジタルエコシステム
サーキュラーエコノミー
(循環型経済)の促進

「サブスクリプション化」が目的の段階から、
サブスクリプションを前提として
「新たなビジネス基盤を構築する」という次の段階へ

デジタルトランスフォーメーションのための
サブスクリプション
統合プラットフォームシステム
「所有」から「利用」へ



bplats[®]connect

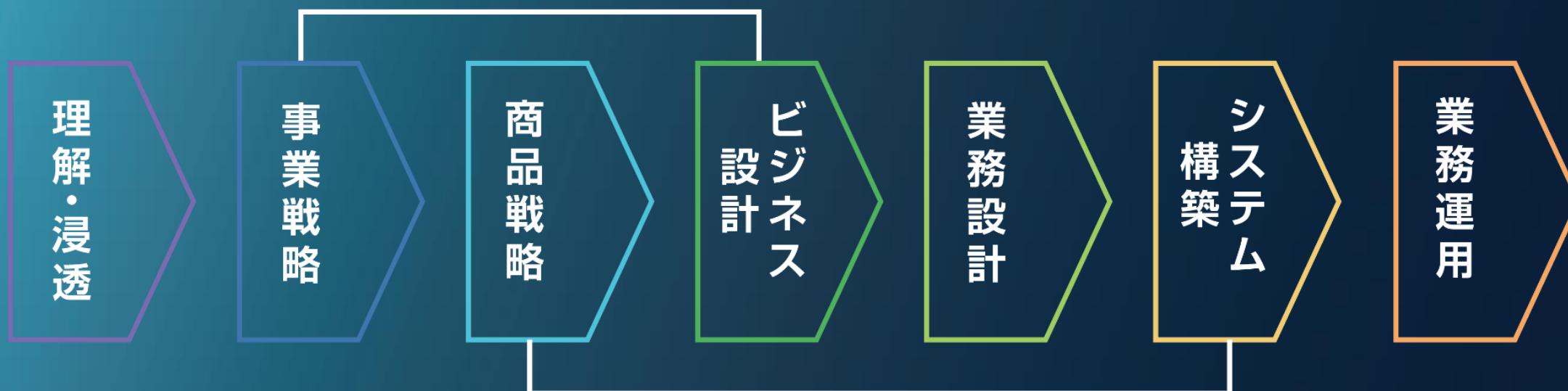
- デジタル共創基盤
- 再生エネルギー
- デジタル流通
- 地域 DX
- スマートビル
- 企業間エコシステム

bplats[®]

「どのようにサブスクリプション化するか」という事業活動から、「サブスクリプションを前提としてどう使いこなすのか」と市場変化に合わせて当社のミッションも「サブスクリプションをすべてのビジネスに」から「新しいつながり、新しいデジタル共創」に変更し、サブスクリプションを用いてどのように社会課題の解決を実現するかというテーマに取り組んでまいります。

サブスクリプションのプロフェッショナル集団として

「事業戦略」は短期・中長期での顧客やパートナーとの関係を定義する必要があります



デジタルビジネスを推進するためには、「モノ」の販売ビジネスと異なり、「商品戦略」と「システム戦略」を一体として考える必要があります



出版・執筆

セミナー講演

コンサルティング

導入支援

システム提案

業務アウトソーシング

株式会社サブスクリプション総合研究所（当社100%子会社）による出版・執筆など通じたサブスクリプションについての啓蒙活動から、お客様へのプラットフォームシステムの業務設計からシステム構築については、ビープラッツ(株)が提供することにより、サブスクリプションビジネスのプロフェッショナル集団として活動しています。

売上拡大イメージ

スポット収入

ご採用時点

事業者（当社の顧客）の事業の立ち上げを様々な形でご支援

- ※：事業者毎の選択となる項目
- OP：オプションの略
- UPG：アップグレードの略

初期開発費※

有償検証費※

導入支援費※

初期費用（OP）※

初期費用（基本）

導入後の月額ストック収入

ご活用開始

プランに合わせた月額固定料

ビジネスの活性化

事業者（当社の顧客）の売上等に応じた月額使用料が加算

事業モデルの拡大

事業の拡大に合わせてプランのアップグレードや、追加オプションを契約

事業者（当社の顧客）の事業拡大とともに収益が拡大していくビジネスモデル

月額固定料（OP）※

月額固定料（基本）

追加費用（OP）※

追加費用（基本 UPG）※

月額使用料（従量）

月額固定料（OP）※

月額固定料（基本）

月額使用料（従量）

事業者による事業の拡大

月額固定料（OP）※

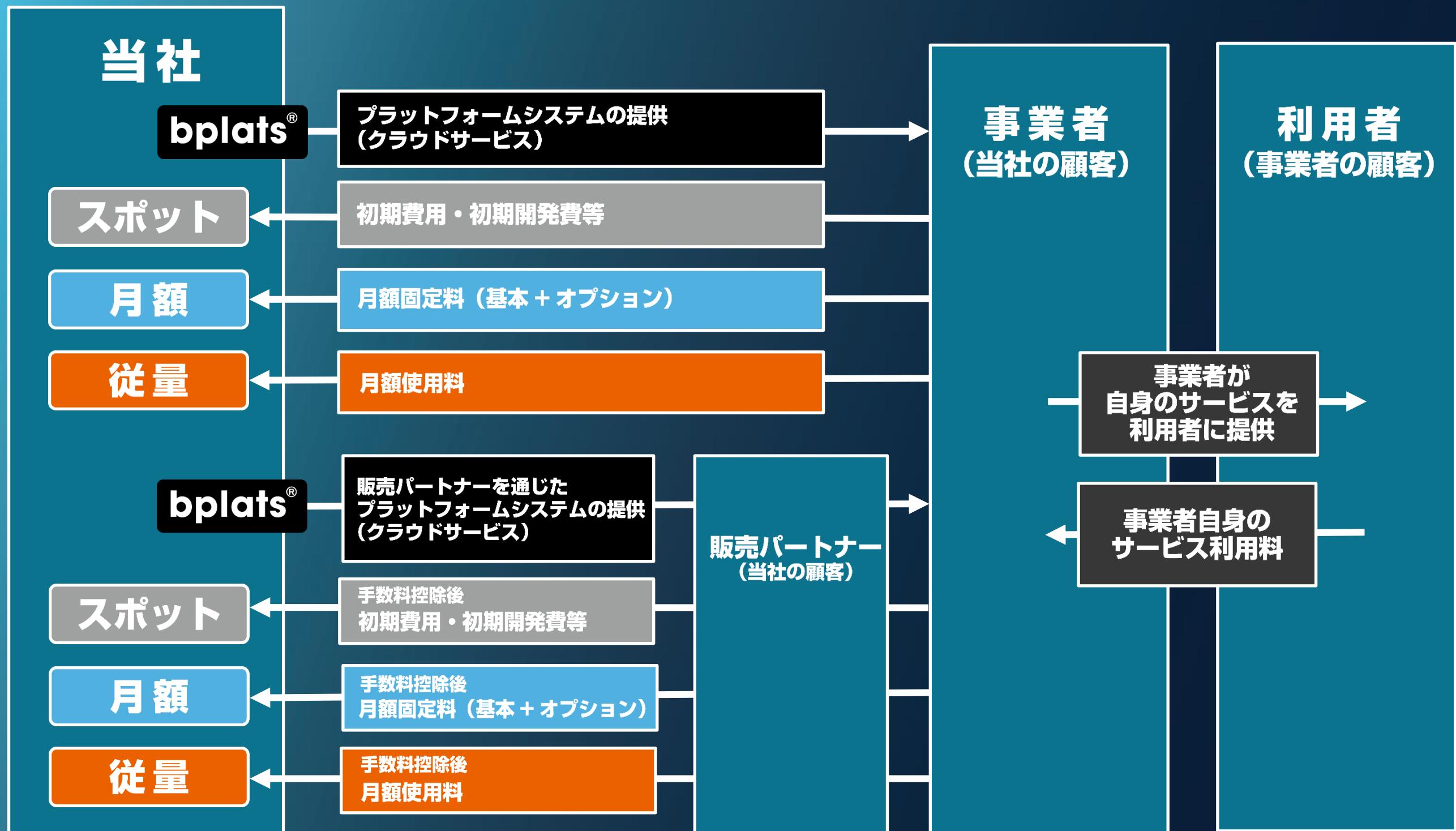
新たな OP の追加契約

月額固定料（基本）

プランのアップグレード

上図の収益モデルは、当社の事業において、事業者（当社の顧客）の事業拡大とともに収益が拡大していくことの想定を示す概念図であり、事業者（当社の顧客）による事業展開の状況、今後のリスクや不確実性その他の要因により、実際には、当該想定のとおりにならない可能性があります。

事業システム図



「Bplats®」をクラウドサービスとして提供しています。当社が事業者（当社の顧客）に直接提供する場合と、当社の販売パートナー経由で事業者提供される場合があります。

会社概要



会社名	ビープラッツ株式会社
証券コード	4381
代表者	代表取締役社長 藤田健治
設立	2006年11月17日
本社所在地	東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフト秋葉原ビル15階
事業内容	クラウドコンピューティングを利用した サブスクリプション（継続ストックビジネス）のプラットフォームの提供
資本金	5億1915万円（2022年3月31日現在）
決算期	3月末
従業員数	59名（2022年3月31日現在）
拠点	ビープラッツ・サブスクリプションセンター(福岡県北九州市)

関係会社概要

Subscription
Research Institute
株式会社サブスクリプション総合研究所

会社名	株式会社サブスクリプション総合研究所
代表者	代表取締役社長 宮崎琢磨
設立	2019年4月1日
本社所在地	東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフト秋葉原ビル15階
事業内容	サブスクリプションの啓蒙に関する研究、 執筆、出版、公演 サブスクリプション事業化支援
資本金	1,000万円（2022年3月31日現在）
株主	当社 100%
決算期	3月末

SUBSCORE

会社名	株式会社サブスコア
代表者	代表取締役社長 沼田 至
設立	2019年6月3日
本社所在地	東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフト秋葉原ビル15階
事業内容	顧客評価スコアリングサービスの開発、 販売 SMSを活用した顧客自身による申込確 定サービスの開発、販売
資本金	3,000万円（2022年3月31日現在）
株主	当社 51% 株式会社光通信 49%
決算期	3月末

■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し中期計画、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。